

は じ め に

徳島県立保健製薬環境センターは、保健衛生、薬事及び環境分野に関する科学的・技術的拠点として、様々な健康危機事象、環境危機事象に迅速に対応し、県民の皆様の安全・安心、豊かな生活環境を確保するため、調査研究、試験検査、情報発信等の業務に取り組んでいます。

令和6年度は、政府行動計画の改定を受け、徳島県新型インフルエンザ等対策行動計画が改定され、「準備期・初動期・対応期」というフェーズのうち「準備期」の取組の充実、感染症対策の機動的切り替え等について追記されました。

当センターにおいても、健康危機対処計画に基づき、施設・設備の整備、試薬や資材の備蓄、応援検査員の育成など準備期の取組を進めているところです。

特に、専門知識と高度な技術、解析力を有する専門人材の継続的な育成は課題であり、所員とともに、新たな風を取り入れつつ、専門知識と技術を引継げる体制の構築を目指しています。

さて今回の年報では、令和6年度の業務概要、調査研究の成果及び監視・測定結果を掲載しており、このうち保健衛生分野では、いわゆる健康食品中の医薬品成分の一斉分析法の検討や植物性自然毒の他成分迅速一斉分析法の検討、健康危機対処計画に係る実践型訓練の結果などについてまとめております。

また環境分野では、県内の大気汚染物質に関する調査研究や水・土壌等の環境管理に関する調査研究などに取り組んでおり、このうちオキシダント濃度や、徳島県沿岸海域に生息する植物プランクトンと水質の関連などについてまとめております。

当センター業務に御協力をいただきました関係者の方々に感謝申し上げますとともに、御一読いただき、御意見をいただければ幸いです。

今後とも、県民の皆様の健康と生活環境を守るため、健康危機管理対応力の向上を目指し、国立研究所、地方衛生研究所、地方環境研究所との連携を強化しつつ研鑽に励み、所管業務及び関連する調査研究に取り組んでまいりますので、一層の御指導、御支援をよろしくお願いいたします。

令和7年12月

徳島県立保健製薬環境センター

所 長 相 原 文 枝